家族や仲間と一緒にボードゲームを楽しもう！

昔から人々に楽しまれてきたボードゲーム。

世界大会が行われるような定番のボードゲーム以外にも、様々な工夫がこらされた新作も多く販売されており、改めてその魅力がクローズアップされています。

スマホやテレビのゲームも楽しいですが、たまにはデジタルデトックスして、家族や仲間と一緒にテーブルを囲み、ボードゲームを楽しんでみませんか？

大井まち駅近くのボードゲームカフェ、ポップコーンズの米田さん、小林さんに、小中学生や親子で楽しめるお薦めのボードゲーム８作品を教えていただきました。

定番のボードゲーム（プレイ人数・対象年齢・プレイ時間）

1. カタン（3－4人、8歳以上・約60分）：世界的に有名なボードゲーム。カタンとうという無人とうを舞台にした陣取り合戦。他のプレイヤーと交渉して資源のやり取りができ、奥が深い。様々なシリーズがある人気作品。
2. ブロックス（2－4人、7歳以上・約20分）：ボードのマスに各色21個の形の異なるピースを交互に置いていく陣取りゲーム。シンプルなルールで家族みんなが楽しめる。プレイ時間は15分から20分程度なので、短い時間でも遊ぶことができる。残ったマス目の数が一番少ない人が、ゲームの勝者となる。
3. ウボンゴ（1－4人、8歳以上・約25分）：スワヒリ語で「脳」という意味を持つゲームで、脳トレの要素がある“パズルゲーム"に、みんなで楽しめる“ボードゲーム"が合わさったパズルボードゲーム。サイコロを振って、制限時間内にパズルを解き、価値ある宝石を多く集めた人が勝者となる。
4. ラミィキューブ（2－4人、7歳以上・約20分）：「同じ色の連番」か「異なる色の同数」の役を作り、場に出た役にアレンジもしながら、手持ちのタイルを早く出し切る。３年に１回開催される世界大会では日本人が優勝したことも。　米田さんおすすめ！
5. いと（2-10人、8歳以上・約30分）：手札の数字カードを、その数字を口に出さずにお題に沿って例えるゲーム。全員で協力して、各自のカードを小さい順に正しく並べられたら成功。シリーズの「いとクラシック」「いとレインボー」もそれぞれお題が特徴的で楽しい。

ニューウェーブ系のボードゲーム（プレイ人数・対象年齢・プレイ時間）

1. ミリメモリー（1－6人、6歳以上・約10～20分）：普段目にしているモノの長さを想像し、手元のカードを使ってその長さを当てるゲーム。問題カードに描かれた「単三電池の長さ」「クレジットカードの縦幅」など、記憶を頼りに答えていく。実際の長さに近いほど高得点になる。参加者の誰かが10点以上になった時点で優勝、ゲーム終了となる。
2. もじあてゲーム　あいうえバトル（2－5人、6歳以上・約15分）：お題から思いついた言葉を書いて周りに見えないように置き、順番に１文字ずつ攻撃して当て合うゲーム。少しずつ分かってくる文字から相手の言葉を予想して、すべての文字を攻撃する。当てる推理と当てられるスリルが楽しいゲーム。
3. ナナトリドリ（2-6人、6歳以上・約10～20分）：手札のカードを早く出し切ることを競う。手札を並び替えられない代わりに、場に出されたカードをうまく回収し、手札を強化できる。パステルカラーで鳥のイラストが描かれたカードもかわいい。　小林さんおすすめ！

※各作品の説明は取材や各社ホームページを元に構成しています

手を動かして対面でコミュニケーションをはかれるのが、ボードゲームの大きな魅力。小ぶりなものは持ち運びもしやすいので、旅行やイベントに持っていくのもお薦めです。

気になるボードゲームがあれば、ぜひチャレンジしてみてください。

2020年オープン300種類以上のボードゲームや体験型謎解きゲームが楽しめます！

取材協力：大井まちボードゲームカフェポップコーンズ

住所：品川区南品川6丁目10の14

電話：〇三-六七壱八-四参五七

ホームページ：https://bgpopcorns.wixsite.com/website

営業時間：平日13:30-22:30土日しゅく10:00-22:00

定休日：月曜日・火曜日

取材／編集：杉田・高浜